

平成27年度 練馬区立旭丘中学校 学校評価報告書

練馬区立 旭丘中 学校  
校長 山谷 安雄 公印

1 自己評価結果

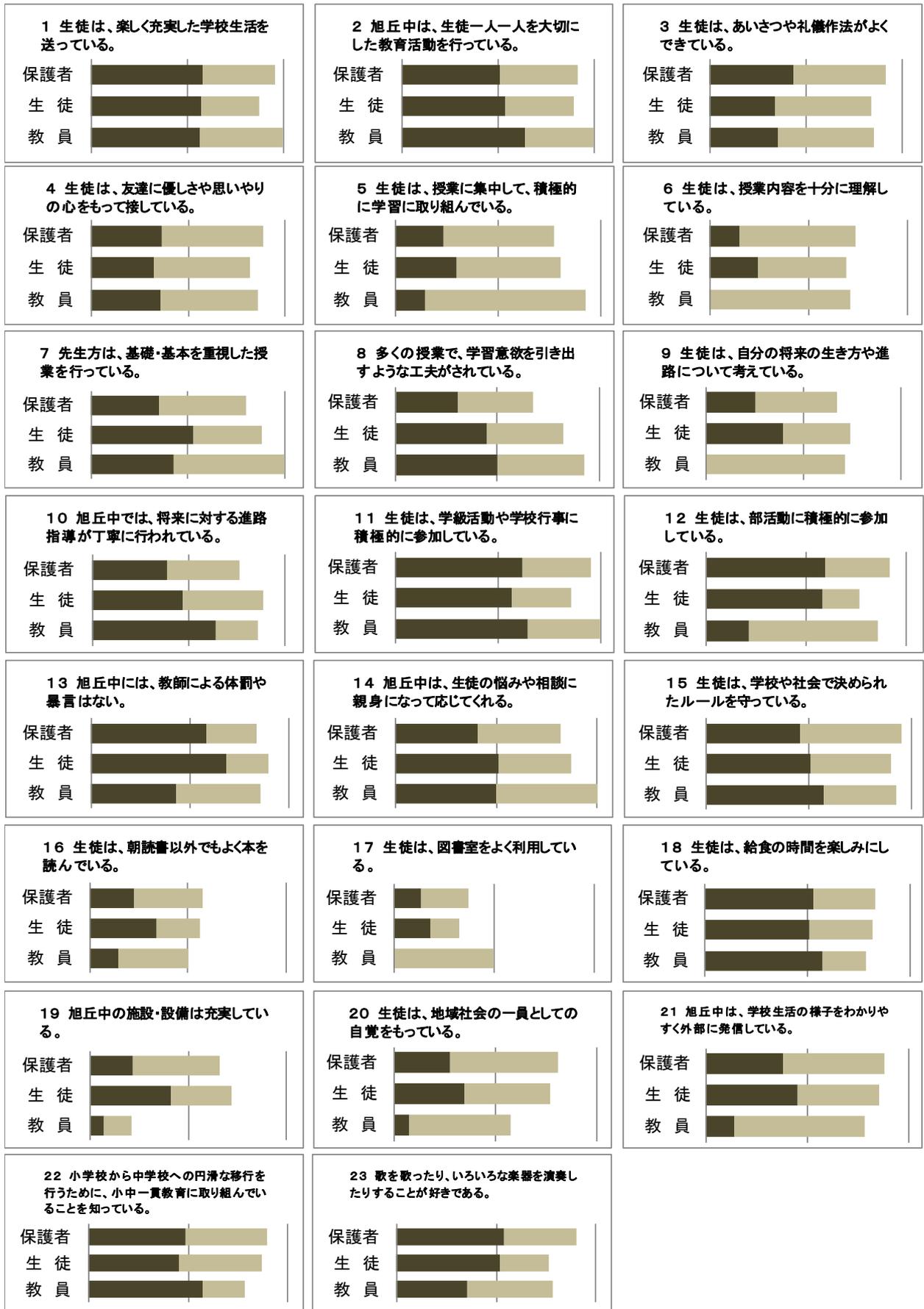
昨年度、アンケート項目を見直し、生徒・保護者・教員に同じ質問を設定し、それぞれの立場の旭丘中に対する思いを集約することができた。今年度は経年の変化も参考にすることができた。この結果は、生徒・保護者・地域関係者に知らせるだけでなく、教職員全員で共有し、今後の学校運営に役立てていきたいと考えている。

(1) 概要

- 1「充実した学校生活」2「一人一人を大切にした教育活動」11「学校行事」に対して、三者とも肯定的評価が90%前後の高評価である。しかし、25・26年度の数値と比べると、年々低下している。
  - 3「あいさつ」や4「優しさ」について、保護者から一番高く評価されている。2年生の肯定的評価が低くなっているが、昨年度よりも増加している。しかし、25・26年度の保護者と生徒の数値と比べると、年々低下している。
  - 5、6、7、8「学習」に対して、保護者、生徒からの強い肯定が低くなっている。教員の授業について、教員がねらっている授業が上手に伝わっていないことも考えられる。基礎・基本の充実、指導方法の工夫などをさらに進めていく。7「基礎・基本の重視」について、保護者の評価は増加している。
  - 13「体罰や暴言」について、高評価ではあるが、100%でなければならない項目である。より一層、適切な指導を徹底していく。
  - 15「ルール」について、三者とも90%以上の高評価である。25・26年度の保護者と生徒の数値からは、微増である。
  - 16、17「読書」について、毎日の朝読書は浸透しているが、1年生以外は朝読書以外の読書が少ない。図書室には、図書館支援員も配置されているため、有効活用して、図書室の魅力を伝えて、利用者を増やすことが課題である。
  - 19「施設・設備」について、築30年以上の校舎のため、老朽化は否めない。古い建物であっても、生徒は毎日の清掃活動に取り組んでいる。古さを感じさせない校舎を目指している。
  - 22「小中一貫教育」について、3学年とも乗り入れ授業や部活動体験を経験しているが、小中一貫教育と結びついていないようである。来年度は、英語科・外国語活動で乗り入れ授業を行い、さらに連携を深めていく。
- 教員による内部評価からの主な課題と対応は、以下の通りである。
- ・道徳授業地区公開講座への保護者の参加が少ない。小学校の行事との兼ね合いもあると思われるが、来年度は土曜日開催とし、参加者を増やす工夫を行う。
  - ・短時間で終わってしまう生徒会朝礼が複数回あった。委員長の報告や表彰など計画的に内容を企画していく。
  - ・「道徳の時間」について、内容の見直しが毎年必要である。年間指導計画や指導案など組織的に共有する体制づくりを目指していく。

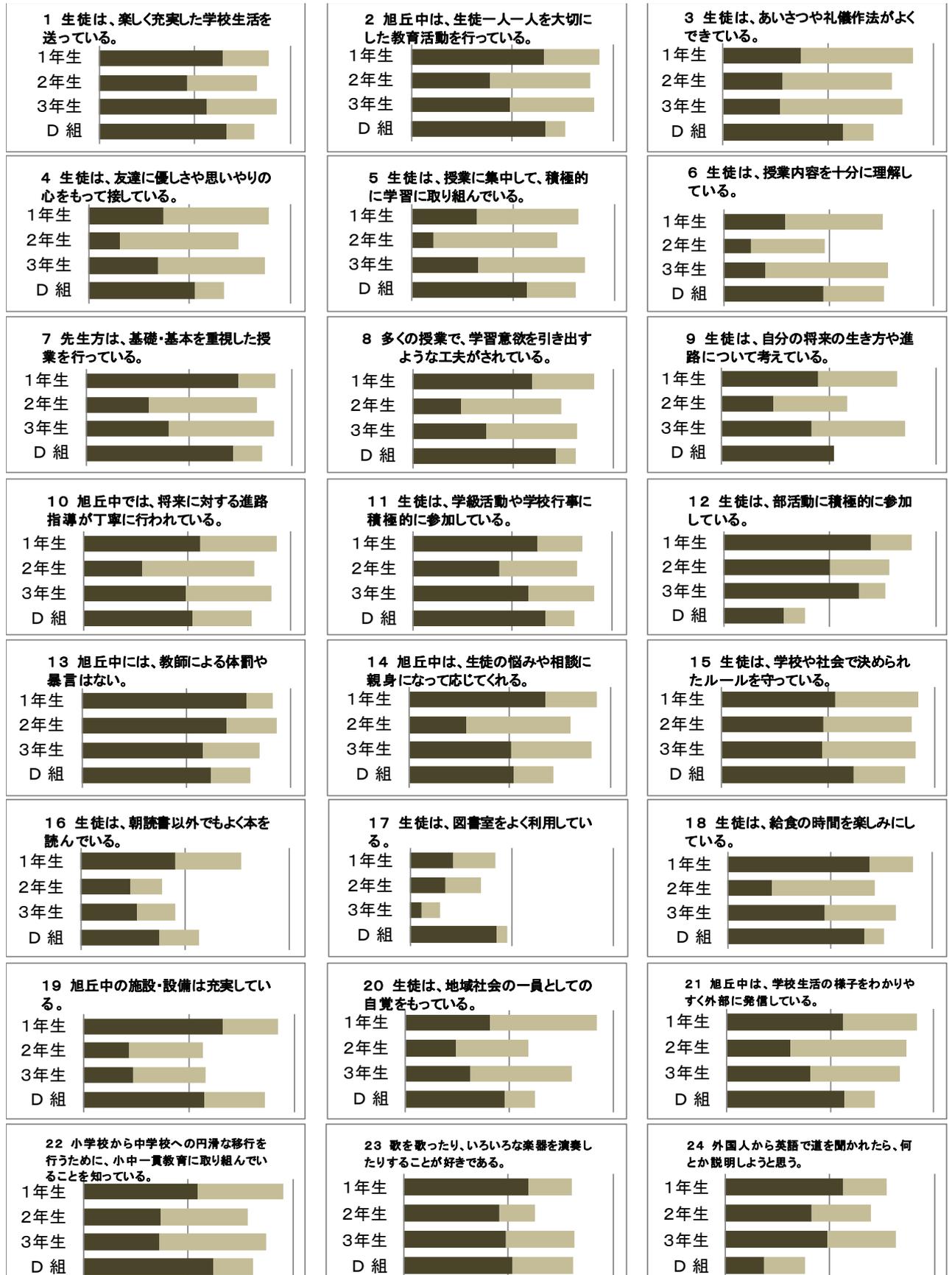
(2) 根拠となる資料

① 平成27年度 学校評価(保護者・生徒・教員アンケート)



そう思う      どちらかといえばそう思う

② 平成27年度 学校評価(生徒アンケート)



そう思う      どちらかといえばそう思う

### ③ 保護者アンケートへの回答

○アンケートの記名を求めていることについて

⇒校長の方針に従ってお願いしています。

○評価評定について

⇒年度の初めに評価評定の説明会でお渡した基準で評価評定をおこなっています。

特に、努力しているのに成績が上がらないということを目にしますが、努力について直接評価はしていません。「関心・意欲・態度」という評価項目の一部として評価しています。

○施設面の事柄について、トイレをはじめ、本校の施設について

⇒学校で取り組めることは、取り組んでいきたいと思います。区に対しての要望は、区全体の財政に関わるので難しいと思われれます。

○生徒の様子等について

⇒学校・地域・家庭の三者で子供達を健全に育てていくという考えで学校では、教育をおこなっております。特に、道徳教育をはじめ心の教育の場面では、三者の協力が必要であると考えます。

⇒授業の様子等様々なご指摘については、学校で適切に対応していきたいと思います。

⇒生徒達が活動すれば、必ず問題は起こるということを前提に指導をしています。いじめ等に対しては、早期発見早期解決、重篤になる前に指導をしていきたいと考えています。

○図書室の利用について

⇒魅力ある図書室にするために図書支援員を配置していただき、雰囲気を変えています。

蔵書等は、予算に従い生徒からのアンケートをとり、揃えています。図書委員会・図書部を中心に利用を促しています。

## 2 学校関係者評価（成果・課題・改善策）

○来年度は2つの小学校で英語の出前授業を実施する。小学校の外国語活動から一歩踏み込んで、「書く・覚える」にも取り組んでいくことを受けて、職場体験などでも外国人へ接客する体験場所なども開拓して欲しい。

○先日の合唱コンクールでの3年生の立派な姿に、3年間の成長が見られる。中学3年生の主体性など、小学生にも見せる機会を設定してもらいたい。

○学校評価のアンケートでは、保護者・生徒・教員の認識に差がある。また、特定の学年生徒の自己評価が低いことが気になる。自己評価を高めていくにはどうしたらよいか、検討していただきたい。

○東日本大震災の当日は、旭丘中では合唱コンクールだった。避難訓練等、防災意識を高めて、地道に継続してほしい。

○朝読書は浸透しているが、他の時間の読書や図書室の利用が低い。図書室の位置なども関係しているのではないかと。教室配置の変更は、すぐには対応できない課題である。

## 3 評価結果の公表等

2月に、全保護者・地域・学校関係者に「旭丘中学校の教育活動に関するアンケート調査について(報告)」を学校だよりに掲載して配布した。

学校ホームページに、本報告書をアップし、公表する。

## 4 次年度の学校改善へ向けた校長の見解

本報告書にある課題の解決に向けて、全教職員で取り組んでいく。